

# 伝統守り新時代へ

## 養徳学舎建て替え完成

首都圏の大学や大学院で学ぶ県出身男子学生の寮「養徳学舎」(県奨学会運営、東京都文京区)の建て替え工事が完成し、15日、荒井正吾知事らが出席し落成式が開催された。舎生は来月から、真新しい学舎での生活をスタートさせる。

### 東京 知事やOBら祝う

養徳学舎は大正8年に創設。以来、約90年間にわたり約1400人の学生が巣立った。昭和33年に建てられた旧学舎の老朽化に伴い、一昨年12月から工事を進めていた。

新築完成を祝い、テープカットする荒井知事(左から3人目)ら。15日、東京都文京区の養徳学舎



知事は「和気あいあいとしたよき伝統を続けてほしい」とあいさつ。安井宏一県議会議長は「舎生には、多くのOBのように各方面で活躍されるよう期待する」と激励した。旧学舎新築時に入舎したOB会副会長の上田藏さん(70)は「平城遷都1300年の年に新たな学舎が完成し感

概深い」と涙ぐんだ。新学舎は鉄筋コンク

リート造りの4階建て(地下1階)で、全50室(個室)。食堂(自炊のみ)、浴室、トイレ、洗面所は共用する。部屋には机とベッド、クローゼットが付く。最寄り地下鉄「茗荷谷」駅。寮費は月3万5千円(入舎費は10万円)。入舎生を若干名募集している。

問い合わせは県東京事務所、電話03(5212)9096。